

【2】 青少年時代のエピソード

[0] 提婆達多の青少年時代のエピソードを語る伝承が少なからず存する。しかしそれは、釈尊が青少年時代における学問・芸術・武道などの学習において、超人的能力を示されたとするエピソードに関連するものばかりである。これらは仏の超越的偉大さを宣揚するものであるが、この中では提婆達多が拮抗しうる若者として登場し最後は敗北することになっている。

[1] これらに関する資料は本「モノグラフ」第3号「仏伝諸経典および仏伝関係諸資料のエピソード別出典要覧」に集録されているので、ここでは省略する。因みに該当箇所は次の通りである。

【09-02】 太子の教育 —— 種々の競技

【10】 提婆達多が射た雁を助ける

【12-02】 結婚 —— 婿選びの種々の競技

ただしこれらはほんの要点のみを記したものであるが、すべて伝説であって史実を示すものは皆無であろうと思われるので、詳細を採録する必要はないと考える。

すでに検討したように、釈尊と提婆達多との年齢差は25歳ほども離れていたと考えられる。これは親子とってよいほどの年齢差であり、したがって釈尊と武芸を争ったり、ましてや結婚相手を奪いあつたりするようなことはあり得ない。破僧の反逆性を強調するため、青少年時代に遡って対抗関係にあったことにされていったのであろう。後に見るように、ジャータカ資料では更に遡って過去世にまで及んでいる。

[2] 出家に関連して、出家以前の提婆達多の行状を述べる資料もあるが、これは次節において紹介する。